

せんしゆん



ISO9001:2015認証取得
日本医療機能評価(3rdG:Ver.2.0)認定病院

<https://www.senshunkai.or.jp/>

千春会

検索

発行責任者：菊地 孝三



かんこぼこ
祇園祭で賑わう函谷鉾周辺(京都市下京区)

理 念 (3つの使命)

1. 患者・利用者の自立を支援し、良質な医療・看護・介護を提供する。
2. 仕事に誇りと責任を持ち、社会人としての向上を目指す。
3. 事業の充実により、住民の健康増進と地域社会の発展に寄与する。

基本方針 (5つの志)

1. 優しい心を基本とする。
2. 医療と介護の相互充実を基本とする。
3. 疾病・障害を一体的に把握し、総合的な医療・介護サービスの提供を基本とする。
4. 良好な療養環境の維持並びに向上を目指す看護・介護を基本とする。
5. 互いの立場を理解し、尊重しあう職場づくりを基本とする。

医療法人社団 千春会

変化を力に、 地域とともに未来を創る

医療法人社団 千春会 副理事長 菊地 三弥



今年も昨年に増して酷暑の夏になるとの予測ですが、皆さまも、この夏を乗り切れるよう、しっかりと体調を整えてお過ごしください。

長引く世界の争いは、先行き不透明な状況ですが、1日も早い世界の平和を願ってやみません。

さて、そのような世界情勢の中で迎えた令和8年度診療報酬改定は、わが国の医療提供体制の方向性をより明確に示す、大変ダイナミックな改定となりました。急性期病院と地域密着型病院の役割分担が一層明確化され、それぞれの機能を発揮しながら地域全体で患者さんを支える体制づくりが求められています。

千春会グループは地域密着型医療機関として、一人ひとりの患者さんの病状だけでなく、生活環境や価値観、ご家族の状況までを踏まえた「オーダーメイド医療」をさらに推進してまいります。病気を治療するだけでなく、その後の生活や人生を支えることこそが、私たちの果たすべき役割であると考えています。

また、超高齢社会においては医療と介護の融合がますます重要になります。入院から退院、在宅療養、介護サービス利用までを切れ目なく支える体制が求められる中、千春会グループは病院、介護老人保健施設、訪問看護、居宅介護支援事業所、高齢者施設などを有する強みを活かし、地域包括ケアのさらなる深化に取り組んでまいります。

医療機能の面では、一般診療はもちろんのこと、一部の内科系専門診療科の充実を進めるとともに、高齢化に伴い需要が増加する整形外科領域の強化にも力を注いでいます。地域の皆さまが身近な場所で専門性の高い医療を受けられる体制を整備し、より質の高い医療の提供を目指します。また、認定看護師や特定行為研修修了看護

師などの育成を積極的に進め、多職種が専門性を発揮できる組織づくりを推進してまいります。

さらに、医療技術の進歩は目覚ましく、再生医療をはじめとする先端医療分野にも新たな可能性が広がっています。加えて、全国でも数か所しかない「日本組織移植学会認定 骨バンク」を新たに設立し、ガイドラインに則った良質で適正な骨移植を行っています。

私たちは地域医療を基盤としながらも、新しい知見や技術を柔軟に取り入れ、地域の皆さまにより良い医療を提供できるよう努めてまいります。

介護分野では、人材育成が今後の大きな鍵を握ります。千春会グループでは研修センター機能の充実を図り、医療・介護に携わる職員が継続的に学び成長できる環境整備を進めています。職員一人ひとりの成長が、サービスの質向上と地域への貢献につながると考えています。

また、持続可能な医療・介護サービスを提供していくためには、経営基盤の強化も欠かせません。安定的なサービス提供のために、さらなる経営基盤の強化を図るとともに、地域の医療機関や介護施設との連携をさらに深め、それぞれの強みを活かしながら地域全体で支え合う体制を構築してまいります。

これからも千春会グループは、「地域とともに歩む医療・介護」という信念のもと、変化を前向きに受け止めながら、地域の皆さまに信頼される医療・介護の提供に努めてまいります。引き続き皆さまのご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

2040年に目標をおいた 地域包括ケアシステム第2ステージに突入！

毎年ご講演いただいている田中滋先生は、日本の医療・介護政策において数々のご提言を重ね、その発展に大きく寄与されてこられた、日本を代表する有識者のお一人です。



テーマ：2040年を見据えて医療介護福祉を考える —新たな課題にどう対応するか—

講演の冒頭では「社会保障制度」は、長い人類史の中、多くの関係者が長年にわたり議論、検討を重ねながら築きあげてきた、普遍的な仕組みであること、その制度が社会の安定を支える重要な基盤となっていることについてお話がありました。

その上で「私たちが当然のように享受しているこの制度も人が作ったルールである以上、時代や社会状況において変化していくものであり、次世代へ丁寧に引き継いでいく責任がある。」との重要なお指摘がありました。

これまで2025年問題の対応として推進されてきた「地域包括ケアシステム」は、官民の連携によって一定の成果を上げ、日本の医療・介護保険制度の中核として定着してきました。

一方、2040年には高齢者を支える体制・整備が進ん

だ結果として、長寿化がさらに進展し、85歳以上人口が1000万人規模に達することが見込まれています。

田中先生は、85歳以上の超高齢者においては、予防の効果が限定的になる側面もあり、人生の最終段階を見据えた支援や対策について、なお、十分な議論と準備がなされていない点を課題として上げられました。

さらに2040年には75歳以上の独居高齢者が600万人を超えるとされており、高齢者を取り巻くニーズは今後大きく変化し、とりわけ生活支援への需要が一層高まることが示されました。

講演の締めくくりとして、田中先生は2040年に向けて日本はすでに「地域包括ケアシステム第2ステージ」へと突入していると述べられました。

今後は「医療・介護の主たる対象年齢層が85歳以上へと移行し、身寄りのない独居高齢者や経済的困窮を抱える方への支援が重要になること、また、その生活圏域ごとに、「地域や街そのもの」がどこまで進化し、支えられるかが問われる時代になる」と強調されました。

私どもも2040年を見据え、当法人においても進むべき方向性を誤ることなく、行政をはじめ、地域の関係機関と連携しながら、地域の皆様により一層貢献できるよう、引き続き努めてまいります。

神経内科・山本 康正先生 ご案内

脳神経系疾患を内科的観点から診療します。

4月から当院で「神経内科専門外来」をご担当の山本康正先生は、脳卒中の第一人者として、長らく京都第二赤十字病院の脳神経内科部長をお務めになり、現在は京都桂病院の脳神経内科部長としてご活躍の脳血管障害で著名な先生です。



脳神経内科とは、脳卒中の他に、脳血管障害、パーキンソン病・パーキンソン症候群、脊髄小脳変性症や筋萎縮性側索硬化症などの神経難病、認知症、てんかん、頭痛、免疫性神経疾患、神経筋疾患などを扱う診療科です。整形外科、眼科、耳鼻咽喉科などと関連する領域もあります。外来では、頭痛、めまい・ふらつき、しびれ・疼痛、物忘れ、歩行障害、言語障害などの訴えで来院される方が多く、結構一般的な疾病領域ともいえます。さらに心因性などの病態と紛らわしい場合もあり、鑑別は専門性が要求されます。脳神経系疾患全領域に対応する“general neurology”を旨としておりますが、各領域の専門性の高いエキスパートとの連携も密に行ってまいります。

神経系疾患の初期症候は多様なものがありますので、少しでも気になられることがありましたら、お気軽にご連絡ください。疾患につながるものであれば即対応いたしますし、疾患につながらない場合は、「安心」をお持ち帰りいただければと思います。

金曜 午後診 受付時間 13:30~16:00 原則予約制

お気軽にご相談下さい。
千春会病院

075-954-2175 (代表)

第2回 股春会総会 開催

股関節再建手術患者の会 「股春会(こはるかい)」発足から1年



股関節再建センター長 藤田 裕先生 講演会 他
長岡京市生涯学習センター バンビオにて

股関節再建センター長 藤田 裕先生の股関節再建手術を受けられた患者さん相互交流の「患者会」が発足して1年が経ちました。手術患者さんが役員となり発足した会で、再建手術後もしっかり歩行できるように健康やリハビリの知識が得られるよう、情報交換や相互交流を目的としています。

昨年春に第1回交流会を開催。秋には、藤田先生を交えての「歩こう会」も開催され、手術後にしっかり歩行できるようになった方々が楽しくウォーキングをして交流しました。今回は、1年に1回の総会も含めた交流会として、前回に引き続き藤田先生の講演会、手術看護認定看護師川原主任、リハビリ理学療法士の福留主任が手術についての詳細や術後の注意事項、在宅で無理なく継続できるリハビリなど、術後の生活に役立つ講演がなされ、参加者は熱心に聴き入っておられました。

毎月、多くの方が股関節再建手術を受けられ、元気に退院されておられます。「股春会」への入会は、入院中に検討できるよう会則と入会案内が手渡され、患者さんの退院後の不安軽減や退院後の交流、在宅での



(左) 講演中のリハビリ理学療法士福留主任と
(右) 手術看護認定看護師 川原主任



役員の皆さんと(中央) 藤田センター長、
理学療法士 福留主任、手術看護認定看護師 川原主任

運動機能の維持継続につなげておられます。

当院では124件の手術が無事に執刀されており、多くの患者さんの信頼を得ています。手術患者さんの交流会発足から、この1年間、役員の方々がしっかり運営されてこられました。今後もできる限り継続していただき、多くの患者さんの退院後の生活が生き活きと充実した日々になればと考えます。

近畿地方初

日本組織移植学会認定 骨バンク 設立に向け準備中! 千春会病院にて

京都府立医科大学から設立の依頼を受け、院内にて「日本組織移植学会認定 骨バンク」を設立いたします。

京都府立医科大学組織バンクの組織移植コーディネーター石垣理穂さんはじめ、地域連携室、整形外科医師との連携で立ち上げを進めている学会認定の「骨バンク」は、近畿地方初となります。

「骨バンク」は骨を保存し、移植により再利用するというものですが、「認定骨バンク」は全国でも数か所しかなく、開設が切に求められており、その要望にお応えすることとなりました。

多くの手術の一助になるよう、しっかりと設立に向け進めてまいります。

千春会骨バンク室



骨を加温処理するロベーター
Lobator sd-2



マイナス80度の
低温保管冷凍庫

介護老人保健施設 春風 地域の方々に施設貸し出し(無償) 毎月60名~100名が来訪

老健「春風」は、設立2011年の当初から地域とのかかわりを意識しており、玄関エントランス先に「地域交流スペース」を持つ施設です。

行政関係からの依頼を受けた地域サポートをはじめ、様々な地域団体や人々と交流を積み重ね、施設と地域のつながりを大切に、毎月60名超の地域の方が来訪されています。

<行政関係との交流>

- ・福祉避難所指定
- ・精神障がい者の居場所づくり
- 「乙訓COCOROスペース」への貸し出し(年6回)
- ・障がい者(成人・児童)の方の入浴サービス、医療型短期入所(ショートステイ)受け入れ

<地域団体等との交流>

■老人クラブ等へ施設提供

- ・久寿会サロン 月2回(春風交流スペース提供・自治会館への運動指導スタッフ派遣)
- ・「デイケアセンター あお空」貸し出し 月2回 地域へのフロア貸し出し(運動機器等)
- ・地域コミュニティへの場所提供(敬老会、クリスマス会)

■その他 地域のボランティアとの交流

- ・傾聴ボランティア(週1回、来訪による傾聴ボランティア)
- ・車イス点検隊(不定期、来訪による車イス点検ボランティア)

今回は傾聴ボランティアさんにお話を伺いました。

今春から「春風」に、地域の老人会所属の有志数人が3名一組で「傾聴ボランティア」として来訪されています。週1回木曜日午後から利用者さん5~10名とテーブルを囲んで、様々なお話を楽しくされています。

傾聴ボランティア活動について 久貝真知子さん

「日によって違いますが、自己紹介に始まり、その場の雰囲気でお話だけでなく、歌を歌ったりして、歌詞から思いたす話を聞かせてもらっています。皆さん、人生経験も深く、私たちが勉強させてもらっています。スタッフの方々にも気を使っているというお話を伺っており、1時間が名残惜しいくらいです。皆さんが若い頃のエピソードなどを目を輝かせて話してくださり、聞いているこちらも元気になります。」と、楽しそうにお話してくださいました。



季節を大切に 心豊かな子どもたちへ

小規模保育園 アトリエ保育園 0歳~2歳 定員19名 保育・高齢複合施設 西山天王山

こどもの日 お祝い会

0歳児~2歳の幼児さんが「こどもの日」を楽しみました。

早くから立派な五月人形が飾られたアトリエ保育園では、こどもの日を祝う会を開催。

当日は、小雨が降っていたため、外出せず「金太郎・熊」の福笑いをしたり、「元気にすくすく育ちますように…」と願いをこめて「こいのぼりトンネル」を順番にくぐって大はしゃぎでした。

季節感を存分に楽しんでもらおうと恒例の「菖蒲の足湯」をウッドデッキに準備して、子どもたちは不思議そうに足をお湯につけながらも、温かいお湯にほっこりしていました。

新聞紙カブトを被って菖蒲湯でほっこり



「季節の野菜を収穫」

園児と高齢者が日常に触れ合えるのが「保育・高齢複合施設」の良さです。2歳児と1歳児さん数名が、施設内の「小規模多機能型居宅介護支援事業所 のどか」の花壇で育てていた玉ねぎとじゃが芋の収穫のお手伝いをしました。収穫した野菜を利用者さんに誇らしげに見せたり、利用者さんと一緒に玉ねぎの匂いを嗅ぎ合って笑いあう姿など、とても微笑ましいひと時でした。6月はさつま芋の苗植えがあり、秋が楽しみです。子どもたちは「また来るね~!」と元気に利用者さんと握手やハイタッチをするなど、高齢者の皆さんは子どもたちに元気をもらい、満面の笑顔あふれる良い時間となりました。

玉ねぎを収穫して大喜び



子ども達の収穫を見守る利用者さん

1 歳時記

保育・高齢複合施設友岡(千春会グループ)

きらら保育園 0才~5才 定員60名

たけのこ掘りで地域と交流



「おいしい!」と大人気の
たけのこ天ぷら、たけのこご飯

きらら保育園の園児さんたちが、長岡京市緑の協会さんと「たけのこ掘り」を楽しみました。当日、園児さんは緑の協会の皆さんが待つ「竹林」に向いました。初めての「たけのこ掘り」は、協会の皆さんが丁寧にやさしく、サポートしてくださり、クワで掘り起こす本格的なことまでさせていただけて、こどもたちは興味津々でした。大人でも難しい「たけのこ掘り」ですが、一生懸命取り組み、大きなたけのこに大はしゃぎ。

西山公園からの帰りは、なんと歩いて帰った元気な園児たちでした。

その後、長岡京市緑の協会さんから、たくさんのたけのこをいただき、「保育・高齢複合施設友岡」の調理師と管理栄養士監修のもと、おいしいたけのこ料理を作ってくれました。いろいろな調理方法のたけのこ料理を「おいしい」と食べながら、大喜びでした。みんなで掘った「たけのこ」がこんなに美味しくなったことを知って、食の大切さ、自然の恵みを存分に感じてくれたようです。

長岡京市緑の協会さんには、大変お世話になりました。このような体験を通じ、「たけのこ」のようにまっすぐ、すくすくと育ててもらいたいと思います。

2 歳時記

ゴミゼロ運動に参画
長岡京市美化運動

今年も法人職員がゴミゼロ運動に参加しました。長岡京市が毎年取り組んでいる美化運動で5月30日(ゴミゼロ)に行う一斉清掃です。千春会も発足当時から、欠かさず参加しています。千春会病院の看護師やリハビリ科、医事課、栄養科、管理部などの職員が集って、病院周辺から長岡京駅界隈をくまなく清掃し、環境整備を行っています。

これからも、常に職員の美化意識を高められるよう、取り組んでまいります。



駅付近、病院周辺を清掃するスタッフ

お楽しみに!
京都府全域の風景写真を
掲載してまいります!



いつも楽しみにされている方も多いのが、季刊誌「せんしゅん」の表紙写真。これまでは「乙訓地域(長岡京市、向日市、大山崎町)を中心にした写真を乙訓医師会の斉ノ内先生にご提供いただいておりますが、これからは、今号表紙のように京都市内なども広くご紹介してまいります。斉ノ内先生ご提供の美しい風景をご期待下さい。

編集後記

今号表紙は日本三大まつり「祇園祭」に欠かせない「函谷鉦」。夜空をバツクにまるで真昼のように明るいのは、祇園まつりならではの「駒形提灯」。函谷鉦は宵山(7/16)の夜、お囃子のクライマックスに合わせ、山鉦を飾っていた駒形提灯が一気に下へ落とされる庄巻のフィナーレ「提灯落とし」の花形です。鉦の名の由来は中国の歴史書・史記にある故事「鶏鳴狗盗」。「中国戦国時代、賢人と名高い斉国の宰相・孟嘗君が秦国に使いとして訪れた際、騙されて幽閉されるが何とか脱出。国境の函谷関まで逃げたが、真夜中のため

閉門中。そこで部下が特技の鶏の鳴き真似をすると周囲の鶏たちもつられて一斉に鳴きだし、朝と勘違いした門番は開門したため脱出成功」というお話。世界情勢は未だ不穏、超高齢者の先行きは?と憂うところですが、千春会は「函谷鉦」のように、暗い夜の明かりとなり、様々な知恵を持って皆さまの不安を突破すべく、法人一丸となって努めてまいります。

お囃子の心地よさに、未来想う祇園祭の夜…(弘)

表紙写真:元・乙訓医師会会長 斉ノ内先生ご提供

患者さまの権利と義務

当院では、次に掲げる患者さまの権利を尊重します。

- 1 患者さまは誰でも、良質な医療と良質な看護を公平に受ける権利があります。
- 2 患者さまは、医療の内容について納得できるまで十分な説明を受ける権利があります(インフォームドコンセント)。
- 3 患者さまは、他の医療機関の医療者に意見を求める権利があります(セカンドオピニオン)。
- 4 患者さまは、医師から説明を受けた治療方法など自らの意思で自由に選択し決定する権利があります。
- 5 患者さまは、ご自分の診療録など診療情報の開示を求める権利があります。
- 6 患者さまは、個人の情報やプライバシーの保護を受ける権利があります。

また良質な医療と看護を公平に受けていただくために、患者さまに次の義務をお願いしております。

- 1 患者さまご自身の健康に関する情報を、できるだけ正確にご提供ください。
- 2 十分理解できるまで質問していただき、納得した上で治療をお受けください。
- 3 患者さまおよびご家族の方々は、他の患者さまの治療や職員による医療提供の支障にならないように協力する義務があります。



日本医療機能評価機構認定病院

千春会病院

〒617-0826 京都府長岡京市開田2丁目14-26
TEL. (075)954-2175 FAX. (075)955-4615